

進路指導部通信

県立高等特別支援学校
進路指導部
2018. 5. 11 NO. 1



今年度、第1号となる進路指導部通信です。この通信を通して進路に関する様々な情報を提供できればと思っております。よろしく申し上げます。進路指導部通信の内容は保護者向けの内容だけでなく、生徒の皆さんに向けてのメッセージも書いていきます。

生徒の皆さんにも保護者の皆様にも目を通していただき、学校生活や進路について語り合ってください機会となればと思っております。

さて、先日は進路全体会にたくさんの保護者の皆様にお越しいただきまして、ありがとうございました。会場が狭く、ご不便をかけたことお詫び申し上げます。ご協力に感謝しております。進路全体会の後、2～3年生は現場実習説明会、そして実習先下見及び挨拶にも行っていただき、ありがとうございました。このように本校では、進路活動において保護者の協力は欠かせません。特に3年生の就職活動では、結合実習先の面接や職場見学、反省会などに出席していただくことになります。結合実習でも、就労後のことも考えて保護者の協力が得られるかどうかを重視している企業も多いです。今後ご理解とご協力をお願い致します。

H30年度 進路指導部員 紹介

鍋島 隆一 (部長)

村上 英樹 (副部長)

井幡 直人

蔭山 裕子

塩見 あや



H30年度 進路関係 行事予定 (お知らせ)

	1年生	2年生	3年生
5月	・校内実習 (5月14日～25日) ・特別実習 (5月22日～5月24日)	・春の現場実習 (5月14～5月25日)	* 結合実習 (5月～随時)
6月			・進路相談会 (本人・保護者・ハローワーク・ 支援センター・学年職員・進路部職員) (6月～夏季休業中*随時個別実施)
10月	1・2年秋の現場実習説明会 及び 全校進路セミナー (10月26日)		
11月	・秋の現場実習 (11月12日～11月22日)		
2月	・二者懇談会 (本人・進路部職員)	・四者懇談会 (日程未定) (本人・保護者・ 担任・進路部職員)	・内定実習 (2月4日～2月15日)

校内実習及び特別実習に臨む1年生へ

1年生の皆さん、入学おめでとうございます。入学から一ヶ月経ち、学校生活にも慣れてきたころでしょうか? いよいよ来週から校内実習が始まります。慣れない立ち仕事で足が痛くなるかもしれません。きついと思うこともあるかもしれません。でもこの2週間を乗り越えることに大きな意味があります。体調を整え、体力や集中力を高め、働く心構えやマナーなどを身につける2週間にしてください。また後半の3日間は特別実習で2～3年生の現場実習先や卒業生の就職先を職場見学します。働いている現場を見学させてもらうことは貴重な機会であることをよく理解し、決して遠足気分にならないように、気を引き締めて見学してください。現場のご迷惑にならないようにマナーに気を付けて、貴重な機会を無駄にしないように、職場の雰囲気や仕事のやりがいや厳しさ等を見て学んでください。



春の現場実習に臨む2年生へ

2年生は2回目の現場実習です。1年生の秋の現場実習では戸惑うことも多かったと思いますが、今回は主体的に実習に取り組めるように、前回の反省をいかしてください。挨拶や返事をしっかりする、マナーやルールを守る、メモを活用し分からないことは自分から質問するなど、働く上で必要な基本的なことは意識して行いましょう。2年生の皆さんは、「ハウレンソウ」（報告・連絡・相談）とともに、「テンシュカク」（テンションを上げる・修正をする・確認をする）という言葉も学習していますね。慣れない実習先では誰でも緊張して声が小さくなりがちですが、そういう時こそテンションを上げることが大切です。挨拶と返事だけは必ず大きな声でできるようにしましょう。何か指導していただいた時には落ち込むのではなく、教えていただいたことに感謝して気持ちを立て直し、すぐに修正をしましょう。ミスは誰にでもあります。修正する力があるか、修正しようとする気持ちがあるかどうかが大変なのです。また教えていただいたことはメモをとり、メモを適宜確認しながら作業をするようにしましょう。ただ休まないで2週間実習に行くことだけを目標にするのではなく、2週間で何を学ぶのか、どんな力をつけたいのか、学校で学んできたことをどういかすのか、自分なりに目標を持って、主体的に取り組む2週間になるように頑張ってください。

春の現場実習に臨む3年生へ

本校の現場実習先は、3年間で異種異業種が体験できるように考えて組んでいます。特に3年の実習先は2月に行った四者懇談での内容を踏まえて学年と進路で協議して決定しています。中には自分の希望とは異なる職種の実習先になった人もいるかも知れません。でもそこで学ぶべきことが必ずあります。何を学べるかはその人の意欲や取り組む態度で変わってきます。3年生にとっては今回が本校で行う最後の現場実習となります。今後の進路決定の大きな検討材料にもなる実習です。どん欲に実習に臨み何かを掴んで帰ってきてください。

3年生の進路活動について

今年度は昨年度と異なり、結合実習は現場実習とは別の期間に実施し、現場実習期間中は体験実習として3年生にも様々な実習先に行って経験を積んできてもらうことを狙いとしています。そのため今年度の結合実習は現場実習終了後、6月から本格的に始まります。求人がいつ誰にくるのかは誰にも分かりません。本当に「ご縁」のものです。いつ自分に「いいご縁」が来ても大丈夫なように、学校生活をしっかり過ごして心と体の状態を常に整えておきましょう。本人が努力していても、地域の問題や事業所の都合などが要因で結合実習がなかなか来ないということもあります。やるべきことをして来たるべき時を待つしかないこともあります。『人事を尽くして天命を待つ』。焦らずに平常心を保ち、今できることを一生懸命して来るべき時に備えるようにしましょう。

保護者に感謝しよう

生徒の皆さんは「自立」を目指して本校で学んでいます。在学中はもちろん、卒業し就職した後も保護者の支援は欠かせません。徐々に支援を少なくし「自立」していくことが目標ですが、「自立」は急にできるものではありません。新しい環境では特に保護者の支援が引き続き必要となります。今回の現場実習でも挨拶や下見に保護者が同行していただき、最終日の反省会にも保護者が出席していただきます。家庭や仕事の都合をつけて参加してくださる保護者に感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。そして、毎日の実習日誌のコメント記入や、実習後の礼状書き、返却物のクリーニングなど、必要なことを自分で確認して保護者に依頼するようにしましょう。必要な支援を自分で依頼することも「自立」につながります。社会人になってもいろんな人に助けをもらいながら成長していきます。支援を当たり前と思わず、感謝すること、そして徐々に自分一人でできることを増やしていくことが大切です。「自立」に向けて今できることをしっかりしていきましょう。

